

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 12 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら西大宮教室

保護者等数(児童数) 26 回収数 26 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	3		1	・各々が伸び伸びと過ごせていると思います。 ・体を軽く動かすには少し教室が狭く感じます。	市指定許可のスペースに対する利用定員を遵守しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	1		2	・他事業所と比べると専門性は低いように思われるが日々のルーティンとしては良いと思います。 ・通い始めなのでよくわかりません。	職員が成長するため、外部研修や内部研修をしながら取り組んでいます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23	1		2	・通い始めなのでよくわかりません。	訓練室、相談室、トイレ、玄関、事務室などに分けてます。室内は、玄関に段差はありますが訓練室内は段差はありません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	24	1		1	・お手洗いなど保護者は普段見れない場所もあるためどちらとも言えません。 ・通い始めなのでよくわかりません。	各部屋、トイレ等掃き掃除、拭き掃除、おもちゃやテーブル、椅子などアルコール消毒をしています。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	26				・5・6・7の質問に対して、面談などで伝えたニーズや子供の現在の状況から支援計画を作成して活動して頂いていると感じます。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23			3		保護者様とのアセスメント面談を基に、個別支援計画内の「支援方針」「支援内容」「目標達成のため、望ましい教室での活動」やモニタリング報告書の毎月の「支援内容」に記載をしています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	23			3	・日々色々な活動、イベントをしていただき、ありがたいと思っています。 ・様々な活動を取り入れて頂いています。	季節を取り入れた活動や体力づくり、運動面、身辺自立や食育、お約束やルール遊び、コミュニケーション遊び、微細活動、製作など工夫しながら取り組んでいます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	2	3	12	・交流などがあるか不明の為わかりません。 ・そういった時の子供の様子も知りたいです。 ・段階があると思うので機会を増やして頂ければと思います。	現在ありません。今後については検討。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25			1		契約時に重要説明書類の中でご説明させて頂いています。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	25			1		保護者様とのアセスメント面談の際、あらかじめ目標や支援方法をご説明をさせてもらい同意を頂いたことを紙面におこしています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	16	5		5	・やってみたいです。 ・トレーニングは聴いていないながらも日々アドバイスは頂けるので感謝です。	個別のアドバイスからさせて頂いています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26				・直接の説明と連絡帳に書かれているのでありがたいです。 ・丁寧に連絡や報告をいただきありがとうございます。こちらの話しもたくさん聞いてくれ、アドバイスももらえありがたいと思っています。	
保護者 への 説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	1		1	・通い始めなのでわかりません。 ・事務的でなくしっかり話を聞いてくれます。	連絡帳、申し送りにて日々行っています。又必要に応じて別途手紙のやり取りや、電話での相談を行っています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19	2	1	4	・もつと利用者間でコミュニケーションがとれたら嬉しいです。(保護者会も参加したが時間に余裕がなかったため) ・保護者会に参加していない為わかりません。 ・イベント等で意見交換できればよかったです。 ・保護者同士でお話しできてこそその場で終わってしまう。	保護者会を年1回実施しています。 今年度ママサロンを開催します。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	24	1		1		連絡帳、申し送りにて日々行っています。又必要に応じて別途手紙のやり取りや、電話での相談を迅速に行っています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25			1		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24	1		1	・毎回とても楽しみにしています。 ・連絡帳では様子を記載して頂いてますが、全般的にはまだ拝見していないため分かりません。 ・放デイの投稿(Instagram)が多いので児童ももう少し増えたらと思います。	SNSでの発信の頻度を上げ、またより多くの活動の様子をお伝えできるよう発信方法を工夫して参ります。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	26			1		鍵のかかる書庫に保管しています。又スタッフにも誓約書にサインを頂き、個々において注意しています。
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	21	1		4	・通い始めなのでわかりません。	設置義務のあるマニュアルは完備しています。また、定款に定められた避難訓練などは実施しています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	2		7	・通い始めなのでわかりません。 ・避難訓練等は年に1回だけですか？	避難訓練は2か月毎に取り組んでいます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	22	5			・まだ不安と寂しさがありそうです。 ・行き始めのため最初は泣いてしまいましたが、帰宅後楽しかった様子が感じられる。 ・その日の様子で変化しますが、迎えに行く時くらい笑顔で教室から出てくるようになりやすい。 ・とても楽しんでいる。 ・こぼんでの話を沢山してくれる。 ・行くという時と行かないという時がある。	ご利用間もない時期でも、ご家庭からの相談などに継続してきめ細やかに対応し、お子様と保護者の方が一日も早く安心して通所できるよう継続して努めています。
	23	事業所の支援に満足しているか	26				・前向きな変化にいつも喜ばせて頂いています。 ・家でできないような活動も多く本人の知恵を増やして頂き大満足です。	

519 26 4 51

87%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 12 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら西大宮教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		部屋を区切り児童の成長過程によりクラスを分けて活動ができる。	面積は適切です。
	2 職員の配置数は適切であるか	8		定められた人数よりも多い職員を配置している。	専門性に関しては、事業所内外の研修などを活用し、向上に努めていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		訓練室の中は段差のない構造になっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		毎営業後、清掃消毒を行っています。	季節に応じて感染予防強化を心がけていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		活動計画書(プログラム)、行事計画、個別支援計画などを話し合う場を設ける。または書面を配布し可能な限り参加(参画)しています。	全職員が会議に出席することが難しい場合もあるため、月ごとのミーティングや資料の配布及び閲覧ファイルの設置を今後も継続していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		連絡帳や電話、手紙、送迎時の申し送りなどで意見相談を受けた時は、職員で協議し速やかに改善しています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		こぼんはうすさくら本部ホームページにて公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		現在第三者による評価は行っていません。今後については検討。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		心理士による発達研修や、チームワーク研修、定期的な虐待防止、キャリアパスなど内外の研修の機会を確保しています。	読書会など専門性を高めるための学びの機会を設けることを検討中。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		面談を半期に一回行い、その中でアセスメントに繋がっています。	より丁寧な聞き取りをするにはどうしたらよいかを検討しながら作成に繋がってまいります。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		こぼんはうすさくら本部のフォーマットを使用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		保護者様とのアセスメント面談を基に、個別支援計画内の「支援方針」「支援内容」「目標達成のため、望ましい教室での活動」やモニタリング報告書の毎月の「支援内容」に記載をしています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		個別支援計画書に沿った目標を更にスモールステップへと細分化しています。細分化した具体的な到達目標及び支援内容を毎月設定し、支援を行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		リーダーが活動予定を見査管又は主任へ相談し、サポートを受けながら活動計画書の作成及び修正を行い、案を事前にチームで共有する仕組みとしています。案の段階で共有することで立案に参画しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		領域に偏りがないように月間でスケジュールを組み、児童にあわせた活動を心がけてます。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		集団の中で個別をまかなえるよう計画書の「支援方針」や「支援内容」に書き込み、半年後にこうなるよう目標をたてながら具体的に対応しています。	左記を踏まえながら、児童の状況に応じて支援を実施していきます。達成したら相談し、新たに目標を立て直しながら検討していきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		朝礼にて確認しあいます。又、ホワイトボードに担当を書き込み視える化しています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		可能な限り振り返りの時間を設け、難しい場合にはサービス伝達記録や業務日誌にて情報共有をしています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		毎回、個人ごとに活動記録を記入しています。また、モニタリング報告書の記入、共有を毎月行っています。	
関係機関や保護者との連携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		最低6か月に1度のモニタリング、面談も行っていきます。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		相談支援事業所、発達支援センターと連携しています。幼稚園、保育園との連携しながら新規利用保護者様や移行支援検討の保護者様へのお話しをしています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2		現在該当児童はいませんが、医療的な事項についてはご家庭を通して主治医からの連絡を受けています。	受け入れの場合は、体制の整備を行ってまいります。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2		現在該当児童はいない。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		相談支援事業所を通して行っていますが、保護者様と幼稚園又は保育園、こぼんはうすさくら保護者様を軸にしてのやりとりはしています。又は、訪問して話しあっています。	今後も連携しながら情報共有をし児童の成長に繋がってまいります。
26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		相談支援事業所を通してのみになってますが、就学前の情報共有依頼があれば行ってきたいと思っております。		

携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	相談支援事業所、発達支援センターと連携しています。必要に応じて社協の研修参加なども行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4	現在ありません。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2	今年度より始まった協議会の準備会へ参加しています。	協議会の参加を通して関係機関との連携を深めると共に、持ち帰った内容を事業所の運営・支援に役に立てていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		連絡帳、申し送りにて日々行っています。また、必要に応じて手紙のやり取りや、電話相談を行っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	6		アドバイスからはじめています。少しずつ現状を伝えたり、二人三脚で成長を支えることができるようお伝えしています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時にご説明させて頂いています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		面談の時に方向性とニュアンス、取り組みに対して同意を得た後、後日個別支援計画書を配布し同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		連絡帳申し送りにて日々行っています。また、必要に応じて手紙のやり取りや、電話相談を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7		年1回の保護者会を開催しています。	ママサロンを開催して、保護者同士が繋がる機会を設けます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		連絡帳申し送りにて日々行っています。また、必要に応じて手紙のやり取りや、電話相談を迅速に行っています。	
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		月1回の教室便り、行事ごとにご家庭に手紙を配布し情報を発信しています。また、定期的にSNSで活動を紹介します。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		鍵のかかる書庫を使用しています。写真掲載時には各ご家庭に同意を得た上で掲載します。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		児童との意思疎通ではそれぞれの特性に応じた方法で行っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	行事への招待の実績はありません。	地域イベントの参加などから地域との交流を図ってまいります。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		教室玄関にマニュアルは設置し、閲覧できるようになっています。	
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		2か月ごとに行っております。又、さいたま市防災センターにて体験訓練をしています。	保護者様に訓練をすることが身近になっていないようなので、こぼん便りやSNSなどで取り組みをお知らせしていきます。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		契約時のアセスメントシートや、フェイスシートにて服薬、予防接種、てんかん等の状況説明や記入を確認して指示を頂いています。		
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	医師の指示書はありませんが、各ご家庭よりやりとりや連絡帳等でご指示を頂いています。	必要に応じて対応をしていきます。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		ヒヤリハット事例は共有しています。対策についても職員間で話し合ったりしながら共有しています。		
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待防止研修を年に1回行っています。		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2		マニュアルに記載しています。又対象児がいる場合、個別支援計画書に記載します。		